

クラブ活動説明

やりがいを感じる。 継続的に活動している

さんだ クラブ

【奉仕活動】

- ・発達障害支援施設 かるがも園 夏祭りでの出店協力
- ・チャリティー バレンタインコンサート

【交流】

- ・さんだYMCAユースリーダーとの交流会
(歓迎会、卒業感謝会、OBOG会など)

「かるがも園」 夏祭り

かるがも園とは

就学前の障害がある子どもや、さまざまな発達上の問題がある子どもが、すこやかに、それぞれの持って生まれた能力を十分に発揮して主体的に発達できるように支援する施設。 定員30名

活動内容

保護者会と協働で夏祭りを企画し、子供たちの好きな出店（から揚げ、ポテトなど）を準備から後片付けまで、資金も含めて支援する。

打ち合わせ3回、評価会に参加

メンバー参加数

メン、メネット8名

継続年数

クラブ設立当初より20年間

メンバーの得るもの

「見返りもない」「お金だけでない」「直接に感じる充実感」、クラブの存在意義を味わえる。



バレンタインコンサート

バレンタインコンサートとは

バレンタインデー前後の期間を、親しみ易いカジュアルな雰囲気、老若男女の幅広い層にも楽しんでもらえるコンサート。初期の頃はバレンタインと言えば、ジャズと言われるくらいのコンセプトを貫いていた。時代の変遷とともに音楽のジャンルも広がり、クラシックからジャズ、ポップスまでをカバーする。

活動内容

クラブのコンサートへかける思いは、「心のバリアフリー」を目指す。すべての生きる対象がふれあう場を提供。とくに、ハンディのある方々を毎年招聘している。

メンバー参加数

メン、メネット8名

継続年数

クラブ設立当初より20年間

メンバーの得るもの

共同体の一員であることの喜びを得る。三田にユニバーサルな街づくり応援をする喜び。



神戸ポートクラブ

【奉仕活動】

- 児童養護施設「真生塾」 納涼大会で出店協力
- 東日本大震災復興支援チャリティーコンサート
- 特別養護老人ホーム「オリンピア」 クリスマス会に協力
- 福祉事業所W A P 活動支援

【交流】

- DBC東京むかでクラブと野尻湖キャンプ、クリスマス会
- IBCシアトルダウンタウンクラブと交流（今年はシアトル訪問）

「真生塾」 納涼大会

真生塾とは

親を失ったり、家族を離れて生活する必要がある子どもたちと職員が家庭的なホームを目指し、愛情と信頼に満ちた明るい生活で、子どもたちの心身の健やかな成長を支援する。定員65

活動内容

真生塾中庭の納涼大会で、たこ焼きとトウモロコシを焼いて販売し、売り上げをすべて寄付。

メンバー参加数

メ、メネット、コメット含め10名以上

継続年数

クラブチャーター以来29年間

メンバーの得るもの

喜んでいただけることが、喜び。奉仕先への理解が進む。メンバーで協力する楽しさも良い。



東日本震災復興チャリティーコンサート

東日本震災復興支援とは

西日本区を通して、被災地へ支援金を送付するチャリティーコンサート。昨年度は、西日本区へ20万円、宮古教会へ5万円の寄付を行った。

活動内容

主旨を理解して下さる演奏者に依頼してコンサートを行う。クラブ内で役割を分担し、全員で準備に取り組む。また、若者にワイズの活動を知ってもらう機会としている（長田高校）。チラシ等の作成と当日の案内等の活動にWAPと協働する。

メンバー参加数

準備はメンバー全員20名以上

当日は、スタッフとして10名

継続年数

4年間

メンバーの得るもの

地域奉仕を協力して行うことは、大きな喜びにつながります。皆さんに喜んでいただくと自信が得られ、モチベーションが上がる。ワイズのPRになる。



宝塚クラブ

【奉仕活動】

- 市民クリスマス「キャロルを歌う夕べ」を主催
- フラダンス及び音楽サークルの指導・支援（はんしん自立の家）
- 宝塚チャリティーバザーを主催

【交流】

- 大阪土佐堀クラブ等、近隣クラブとの合同例会
- IBC-Give（デンマーク）、Yakima（USA）、
DBC-東京まちだ・岩国

市民クリスマス・キャロルを歌う夕べ

市民クリスマスとは

美しいクリスマスの教会音楽を地域社会に贈り、真のクリスマスの喜びを伝える。

活動内容

地域の教会（献金）・音楽ボランティア・ワイズによる協働事業。特設合唱団は10回の練習会を実施。

参加数

来客数 約300名

出演 5団体 80名

メン・メネット・YMCAリーダー数名が裏方

継続年数

H16年から連続11回

第12回目 12月22日（木）宝塚ベガホール

メンバーの得るもの

出演する子供・学生たちの年ごとに成長する姿から元気を与えられ、継続実施の恵みを思う。



フラ・音楽サークル指導・支援

はんしん自立の家とは

英国チェーシャーホームの理念を受け継ぎ、50人のハンディキャップのある「入居者」が生活。

活動内容

- ・はんしん自立の家でのフラ・合唱指導
- ・関学フラサークル「マハロ」の指導
- ・障がいをもつ子供「ポップンリンガーズ」支援
- ・はんしん自立の家、市民団体 武庫川がっこう等と「あがれ希望の凧」「きらりと輝くアート展」

メンバー参加数

メン・メネットのタレントが分野ごとに指導者や補助者となって自主活動を行う

メンバーの得るもの

市民クリスマスの舞台上で日頃の練習成果が披露され、舞台を盛り上げてくれる。



神戸クラブ

【奉仕活動】

- WACCA (women and children care center)
女性やシングルマザーと子どもへの支援・仲間づくりのスペース
献金や例会へスピーカーとして招聘
- NPO法人WA (就労継続支援B型) ネットワーク神戸
プルタブ回収、バザー寄贈品、献金

【交流】

- 神戸・西神戸合同例会実施等

WACCA支援

WACCAとは

NPO法人「女性と子ども支援センター ウィメンズ ネットこうべ」が主催。困難を抱える女性やシングルマザーと子どもたちの孤立感を解消し、安心や自信を回復し、生活再建を支援することを目的とした活動で、親子の学習支援も行う。

活動内容

例会へスタッフをスピーカーとして招聘し、事業活動の理解を深めて、献金をする。

メンバー参加数

メン、メネット、コメット含め20名以上

継続年数

約2年間

メンバーの得るもの

社会的弱者への理解が深まり、献金をすることで奉仕の喜びを共有できる。



NPO法人WA 支援

NPO法人WAとは

1988年に「障がい者小規模作業所ネットワーク神戸」を設立、その後2009年に法人取得を行い、作業所から就労継続支援B型に移行。神戸の街に住む障がいがある人たちが、真に自立した地域生活をするための必要な事業展開
毎年1回開催

活動内容

関係者に広く呼びかけ、プルタブ回収、バザーへの賞品寄贈を行う。

メンバー参加数

メン、メネット、20名以上

継続年数

約3年間

メンバーの得るもの

支援することで、障がいがある人たちに感心をもちより身近な存在としてともに生きることを実感する。



西宮クラブ

【奉仕活動】

- 岩手県宮古市障がい者施設の製品販売支援（16施設を連携する「いきいきフェア実行委員会」の活動支援）
- 西宮YMCAファミリープログラム実行支援
- 盛岡YMCAの宮古市での青少年育成活動支援

【交流】

- 近江八幡、広島、西宮トライアングルDBC交流会
- 芦屋、神戸など近隣クラブとの合同交流例会

宮古障がい者施設支援

いきいきフェア実行委員会とは

宮古市を拠点に、近隣の障がい者施設16か所の製品販売活性化を目的に、イベント販売など連携、交流を推進する任意団体。震災直後に宮古教会の方の紹介で知り合うことができた。

活動内容

区大会、バザー、近隣イベントで製品を販売し、売り上げを実行委員会へ全額フィードバックする。これまで、5年間で660万円を送金。年に1回宮古を訪問して実行委員会や施設の方々と交流する。

メンバー参加数

年5～6回出店し、メン、メネット、コメット含め7～10名が参加

宮古訪問は5年間でメン、メネット延べ29名

継続年数

5年間

メンバーの得るもの

直接訪問し、顔の見える関係を大切につながりを感じ、製品販売で達成感、奉仕の喜びを感じ取れる。



ファミリープログラム

ファミリープログラムとは

西宮YMCAが野外活動の会員増強のため、YMCA現役会員及び、保育園や学童保育の保護者を対象に野外活動プログラムをファミリーで体験して頂く事業。ユースリーダーの存在や子供たちの活動を保護者が体験することで、YMCAの青少年事業の理解を深めてもらう。

年2回開催

活動内容

プログラム実施費用の支援

プログラムに同行し、YMCA理解の講話を実施

メンバー参加数

3～5名/回

継続年数

15年間以上

メンバーの得るもの

ユースリーダーと野外活動を通じて協働する喜びを感じれる。保護者やリーダーとの交流。



神戸学園都市クラブ

【奉仕活動】

- ワイワイまつり（西神戸YMCAバザー）
- 音楽例会 会員や地域に関わる方を招待
- クリスマス祝会 会員や地域に関わる方を招待
- 西神戸YMCA幼稚園・ちとせ幼稚園バザー協力
- 学園都市夏祭り 参加

【交流】

- IBC高雄ポート例会、DBC東京武蔵野多摩例会

「ワイワイまつり」餅つき

ワイワイまつりとは

すべての人々が平和に暮らすことができる社会をつくり出す国際協力・地域奉仕を支える西神戸YMCAで開催されるチャリティーイベント。会員や地域の方々が参加する。

来場者約1000名、毎年1回開催。

活動内容

餅つきをし、つきたての餅を販売する。

メンバー参加数

メン、メネット、コメット含め20名

継続年数

17年

メンバーの得るもの

餅をつき、販売することでクラブの一体感が得れる。子どもたちは美味しそうに餅を食べる姿をみるのは励みになる。



音楽例会「フルート演奏会」など

音楽例会とは

音楽会を開き、会員や地域の方々を招待する。毎年1回開催する。

活動内容

生演奏の音楽を聴いたり、楽器に触れ演奏の仕方を学ぶ。

メンバー参加数

メン、メネットほぼ全員

継続年数

15年

メンバーの得るもの

音楽を聴き、楽しまれている地域の方々の姿にふれる喜び。



芦屋クラブ

【奉仕活動】

- 神戸YMCA学院日本語学科の留学生支援
- 「芦屋さくら祭り」に出店しワイズを宣伝
- 知的障がい者施設 みどり作業所への支援

【交流】

- 誰でも参加したくなる充実した第一例会へゲストを招く
- クリスマス会は、六甲部のクリスマス会を意識し、チャーター以来毎年100名規模で開催

留学生支援

留学生とは

神戸YMCA学院専門学校日本語学科に通う留学生で、1年～2年間日本語能力の勉強をしています。

活動内容

2月第1水曜日に、会員のレストランを解放していただき、留学生を40名ほど招く。御影の

1-ス°ラがKOBE-EAST神戸YMCAの高校生も招き交流を図る。会員の持ち寄った食材でもてなします

メンバー参加数

メン、メネットで約20名

継続年数

10年間

メンバーの得るもの

YMCAの現場との繋がりを実感でき、日本語学科へも資することができる貴重な時間を共有



芦屋さくら祭り 出店

芦屋さくら祭りとは

芦屋市市民参画課と芦屋市商工会が主催するイベントで、毎年4月に芦屋川周囲で開催される。数多くの団体が出展し、多くの市民が交流する。

活動内容

毎年、クラブの顔となった「ちぢみ」を焼いて販売し、奉仕活動のファンド作りとする。ワイズメンズクラブの宣伝ともなる。

メンバー参加数

メン、メネットで約15名

継続年数

11年間

メンバーの得るもの

ワイズメンズクラブを芦屋市民にPRでき、ワイズメンである誇りを感じる。YMCAへの奉仕の気持ちをも強める。ユースとの交流



神戸西 クラブ

【奉仕活動】

- ・社会福祉法人 神戸いのちの電話支援
- ・公益社団法人 家庭養護促進協会支援

【交流】

- ・DBC 東西日本区ペンタゴン（西連合）
5クラブとの交流（東京西、京都ウエスト、大阪西、
熊本にし、神戸西 各クラブ）

いのちの電話支援

神戸いのちの電話とは

1981年6月20日に開設。2001年1月より365日体制で相談電話を受付けています。2002年4月には社会福祉法人として認可され、現在およそ170名の相談員が在籍しており、毎月約千件、年間では1万2千件の相談電話に応じています。

活動内容

活動支援金、例会での勉強会

メンバー参加数

メン、メネット11名

継続年数

35年間（法人開設以来）

メンバーの得るもの

自殺防止という尊い働きに、私たちの支援が、役立っているという充足感を共有できる



家庭養護促進協会

家庭養護促進協会とは

こどもの里親をさがす「愛の手運動」を通じて里親・養親さがしを行うとともに、家庭に暮らす子どもたちが健やかに育つための活動を行っている。
1960年12月に設立。神戸市と大阪市に事務所を持つ。子ども一人ひとりの状況と必要に応じて、「養子縁組里親」、「養育里親」「週末里親・季節里親」がある。

活動内容

活動支援金、例会での勉強会

メンバー参加数

メン、メネット10名

継続年数

34年間

メンバーの得るもの

子どもたちに里親を通して家庭生活を体験してもらうことは、子供の成長の上で、大変重要なことと思ひ、協会の趣旨に賛同できること。

